

科目区分	専門教育科目	科目名	コミュニケーション技術A		科目コード	17F420	担当者	荒木 正平			
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	後期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
介護を必要とする人々とのコミュニケーションのあり方について理解を深め、実践力を身につける。						1. 「尽心」 誠実な人柄と人間力	2. 「創造」 高度な知性と創造力	3. 「実践」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	介護場面におけるコミュニケーションの意義や目的を理解する。					◎	◎	○	◎	○	
2.	介護場面で用いられるコミュニケーション技法を理解する。										
3.	介護場面における情報共有のあり方を理解する。										
4.											
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
演習科目である。講義や個人ワークとグループワークを組み合わせながら授業をする。事例に関する資料やDVDを活用する。（適宜レポート課題やミニテストを出題し、学生の理解を促す）						定期試験（50%） 提出物（40%） 受講態度（10%）					
準備学修						課題等への対応					
予習として、教科書を授業までに読んでおくこと（30～40分程度）。復習には、配付資料やレジュメ、ミニテストなども活用し、理解を深めるように努める。						授業の理解度を確認するため、定期的にミニテストを実施する。必要に応じて個別指導を行う。					
授業計画											
第1回	コミュニケーションの基本① 介護におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する										
第2回	コミュニケーションの基本② 介護におけるコミュニケーションの役割や効果を理解する										
第3回	コミュニケーションの基本③ 利用者を深く理解するためのコミュニケーション										
第4回	コミュニケーションの基本④ 介護における生活支援とコミュニケーション										
第5回	コミュニケーションの基本⑤ 非言語コミュニケーションの活用										
第6回	コミュニケーションの基本⑥ 介護福祉士に求められるコミュニケーション										
第7回	コミュニケーション場面をふりかえる技法① プロセスレコードの活用1										
第8回	コミュニケーション場面をふりかえる技法② プロセスレコードの活用2										
第9回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション① 傾聴の技法										
第10回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション② 利用者の感情表現の理解										
第11回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション③ 納得と同意を得る技法、質問の技法										
第12回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション④ 相談・助言・指導の技法										
第13回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション⑤ 意欲を引き出す技法										
第14回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション⑥ 利用者と家族の意向を調整する技法										
第15回	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション⑦ 複数の利用者がある場面でのコミュニケーション技法										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト「コミュニケーション技術」中央法規出版						介護に関するあらゆる場面でまず求められるのは、確かなコミュニケーション能力です。介護者としての感性・人間性に根差したコミュニケーション能力を身に付けていきましょう。					